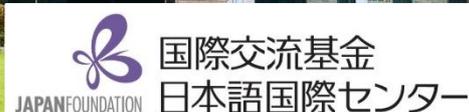


第 22 回海外日本語教育研究会
日本語国際センターの
これまで・今・これから
—日本語教育で人と社会をつなぐ—

日時：2019年10月5日（土）
会場：国際交流基金日本語国際センター



スケジュール

| | | | |
|--|--|--------------------------------|---------------|
| 12:30 開場・受付 | | 12:30 - 16:00 図書館展示 (2F) | |
| 13:00-13:15 挨拶 趣旨説明 | | | |
| 13:15-14:15 【全体会】「日本語教師研修のこれまで・これから」 | | | |
| (休憩・移動) | | | |
| 【分科会】(3F) | | 【体験・カフェ】(3F) | |
| 展示／ポスター発表 | 口頭発表 | 14:30 - 16:00 | 14:30 - 15:30 |
| 14:30 - 16:00 「分析的視点や自律性を重視した文法授業(中・上級)の実践」 「日本語をことばとしてとらえる授業—世界言語の一つとして—」 「これからの日本語教育を担う若手ノンネイティブ教師の研修」 「JF 生活日本語 Can-do を学習目標とした教材の開発」 「海外におけるビジネス日本語教育のための教師研修」 | 15:20 - 16:00 「JF 日本語教育スタンダードの Can-do の妥当性の検証」 | 「日本語国際センターの開発した Web サイト・アプリデモ」 | 所長カフェ |

<<プログラム>>

全体会

■「日本語教師研修のこれまで・これから」(来嶋洋美・八田直美・長坂水晶)

📍 2階 ホール

日本語国際センター（NC）で実施してきた、主にノンネイティブ日本語教師を対象とした研修の内容・方法をふり返った上で、今後、時代に合った教師研修を展開していくために何が 필요한のか考えます。そのための基礎資料として、欧州で開発された外国語教師の資質能力の枠組み等を概観し、日本語教師研修への適用可能性を探ります。

分科会

展示／ポスター発表

■ 教師研修における文法科目

NCの教師研修における文法科目では、単に「文法」「文型」を教えるのではなく、教師として必要な「文法に対する分析的な視点」の養成を行っています。今回の研究会では2つの実践例を報告します。

「分析的視点や自律性を重視した文法授業（中・上級）の実践」(木田真理・山本実佳)

📍 1 研修室

「日本語をことばとしてとらえる授業—世界言語の一つとして—」(生田守)

📍 2 研修室

■「これからの日本語教育を担う若手ノンネイティブ教師のための研修」(押尾和美・石山友之・池田香菜子・大船ちさと・長坂水晶)

📍 11 研修室

NCでは、教授経験の浅い若手教師を対象として、教師としての専門能力、コミュニケーション能力、自己研鑽の能力を高めるために6か月の研修を行っています。今回の研究会では、目標達成に向けてどのような活動を行っているのか報告します。

■「JF 生活日本語 Can-do を学習目標とした教材の開発」(Can-do 開発：菊岡由夏・高偉建・伊藤由希子 ／教材開発：磯村一弘・藤長かおる・伊藤由希子・湯本かほり・岩本雅子・羽吹幸)

📍 12 研修室

NCでは、外国人が日本で出会う生活場面において必要となる「JF 生活日本語 Can-do」を開発し、それを学習目標にした新たな日本語教材を制作しています。今回の研究会では、8月末公開の新教材のシラバス案と教材サンプルを紹介します。

■「海外におけるビジネス日本語教育のための教師研修」(根津誠・木谷直之)

📍 13 研修室

NCでは、海外で教える教師を対象としたビジネス日本語教育のための約5週間の研修を今年度新たに実施します。今回の研究会では、海外のビジネス日本語教育の実態調査の結果と、それを基にした研修デザインを紹介します。

口頭発表

■「JF 日本語教育スタンダードの Can-do の妥当性の検証」(柴原智代・夷石寿賀子)

📍 3 研修室

ヨーロッパ言語共通参照枠（以下、CEFR）を参考にして開発された JF 日本語教育スタンダード（以下、JFS）は、日本語の特徴から見たとき CEFR のレベル感が同様に適用できるのかが議論されてきました。NCでは、2018年度に CEFR の検証方法を参考に JFS の Can-do の妥当性を検証しました。今回の研究会では、JFS の意義、検証の背景や手法について報告します。

カフェ・展示・体験コーナー

■「所長カフェ」(砂川裕一 所長)

📍 9/10 研修室

今回の研究会でテーマに掲げた「日本語教育で人と社会をつなぐ」とは、どういうことなのでしょう。現場、行政、産業界など、それぞれの立場の違いを超えてできること、すべきことは何でしょうか。砂川所長と語り合しましょう。お茶とお菓子の用意があります。

■「日本語国際センター図書館 蔵書の展示」(大久保真弓・飯塚千絵)

📍 2階 図書館

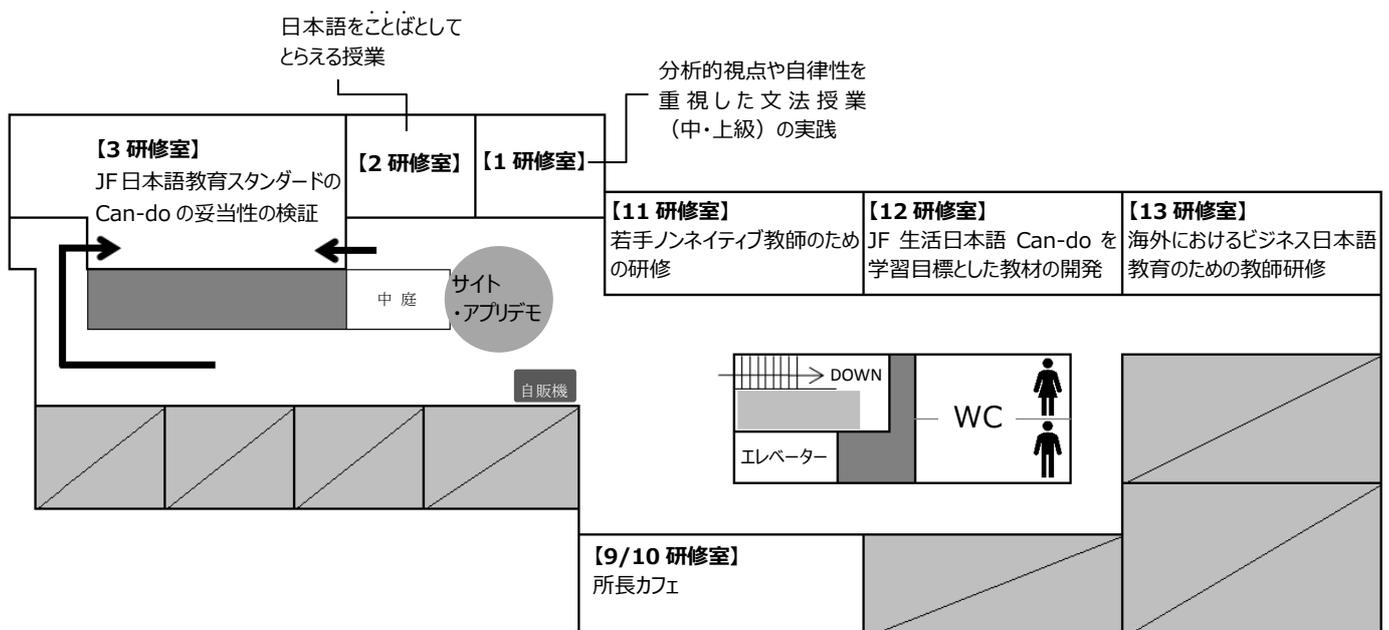
NC 図書館が収集した世界 70 개국・地域の日本語教科書や資料、約 5 万点を実際に手にとってご覧いただけるほか、国際交流基金が日本国内と海外で制作してきた教材も一堂に閲覧できます。研究会当日は、CEFR 関連の資料 (ELP : European Language Portfolio 等) の特別展示をしています。

■「日本語国際センターの開発した Web サイト・アプリデモ」(夷石寿賀子・岩本雅子・羽吹幸・内田陽子・高橋亜由未)

📍 3階 ロビー

「みんなの教材サイト」に新たに加わった JFS 準拠の読解活動集や、課題遂行型の授業案について紹介します。また、2018 年に公開した「エリンと挑戦! にほんごテスト」アプリも体験できます。

<<3F 会場案内図>>



<<参考：過去の研究会資料>>

日本語国際センター 調査研究  検索 

www.jpf.go.jp/j/urawa/about/event/wld_event_22.html

